


# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 福岡県立三潴高等学校 】





1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	福岡県立三潴高等学校 全校生徒 118名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 専攻実技 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	オリンピックによる「走の基本」実技指導を通して、スポーツ文化コース1, 2年生の走に対する技術指導はもちろんのこと、オリンピズムの教育的価値(努力の喜び、フェアプレイ、バランスのとれた身徳知)を生徒達が実感し、2020年東京オリンピックに興味関心を抱いたり、今後の生活に生かせるようにする。
5 取組内容	○スポーツ文化コース188名を対象とし「走の基本」実技指導を行った。  オリンピック3名での導入講座    (1) 初めに講師3名によりホワイトボードを使用して練習に取り組む考え方などを考えさせどのような気持ちで取り組んでいくかにつながっていく。 (2) ホワイトボードを使用し理解するために図等を見てイメージを掴む。



- (3) 走る時の思考感覚。
- (4) 心と体の相互トレーニング。
- (5) 実際の走りの中でのトレーニング。



- (6) 講師の実技を受け、興味を持ったことや疑問に思ったこと等を質問。

	  <ul style="list-style-type: none"> <li>(3) 走る時の思考感覚。</li> <li>(4) 心と体の相互トレーニング。</li> <li>(5) 実際の走りの中でのトレーニング。</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>(6) 講師の実技を受け、興味を持ったことや疑問に思ったこと等を質問。</li> </ul>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○走りという、種目には関りが薄い内容だったが、体の仕組みや練習に対して考え方が勉強になり自分の競技に置き換えて考える事ができた。(水泳部)</li> <li>○本時の目標を9割以上の生徒が達成できた。(アンケート結果から)</li> <li>○2020年の東京オリンピックへの関心と現役でもある講師が代表となって活躍して欲しいという気持ちを高める事ができた。(アンケート結果から)</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講師本人が出演した、オリンピックリオ大会の競技の様子を話すことでトップアスリートである実感をもたせる。</li> <li>○走りについての図を見ながら説明を行うことで体の仕組みのイメージをつかむ。</li> <li>○実際に体で体験することで頭と体のつながりを理解する。</li> <li>○最後に自分の走りの中に取り入れ、より良い走りに繋げていく。</li> <li>○講師に質問などの時間を設け、講師の体験を踏まえながら回答することで生徒たちに自信や勇気を与えさせる。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今回のオリンピック・パラリンピック教育は我々教師が行うよりも、生徒への刺激が大変大きいと感じられ、その効果は予想以上であった。しかし、この一度かぎりでは終わらず継続してこの教育を行っていくことが必要だと考える。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>未定</p>